



申 24号 「『変革 2027 の実現に向けた組織の再編について』に関する 説明申し入れ（その2）」 団体交渉を行う！①

1. 現業機関毎の予算配分の決定の仕方を明らかにすること。

会社回答の特徴 メンテナンス職場について

- 予算配分の流れについては大きく変わるものではない。設備技術センターとなって、支社と現業が一緒に業務を行い、一体で管理していくので、効率的な予算管理ができると考える。
- ユーザー件名工事については、優先順位の考え方は変わらない。限られた財源の中で本部・支社の判断になる。各支社経営戦略ユニットが企画の業務を担うので、そこで判断をすることとなる。

会社回答の特徴 その他の職場

- 統括センターおよび営業統括センターに一律に予算管理する部署やチームをつくる考えはない。
- 支社から年度初に一定程度の予算が配分され、その中で企画・立案し現場の判断でプロジェクト等を進めていく。
- 予算規模の決定は、企画業務の内容が大きな要素の一つになる。
- 予算規模や予算責任者は、業務管理規程に定められた範囲でおこなっていく。

2. マイプロジェクト、委員会、PT及び企画業務について、それぞれの目的と相違点を明らかにすること。

会社回答の特徴

- マイプロジェクト、委員会、PT の目的は、社員の成長を促し、改善活動として生産性向上、地域連携など、様々な成果を伴うもの。マイプロは、社員育成に重要だと考えるので、今後も行っていく。
- 企画業務は、支社で行っているような業務。今でも駅や乗務員の内勤や技セなど企画業務をしている人はすでにいる。企業活動の本質からすると、改善や生産性向上が内包されていると考える。
- 委員会やPTについては、支社の業務が現場に移管されることで見直し、再編されていくものもある。

3. 各支社採用者の異動について、3つのエリアに区分けすることにより、これまでとの変更点があるのか明らかにすること。

会社回答の特徴

- 今でも支社間異動は行っているが、異動についての考え方は大きく変わらない。
- 業務の必要性、合理性、本人希望、居住地等に配慮していくことはこれまでと変わらない。

4. 今後の新入社員の採用及び配属支社等の考え方を明らかにすること。

会社回答の特徴

- 採用や配属については、会社のその時々判断で行うものである。環境変化に応じて採用の仕方を変えている。
- 配属の仕方は、〇〇支社〇〇駅。来年以降〇〇本部と変えるものではない。
- 国鉄採用の大量退職が再来年で終わる。採用については、安定採用を踏まえ、社員数を鑑みて行っていく。